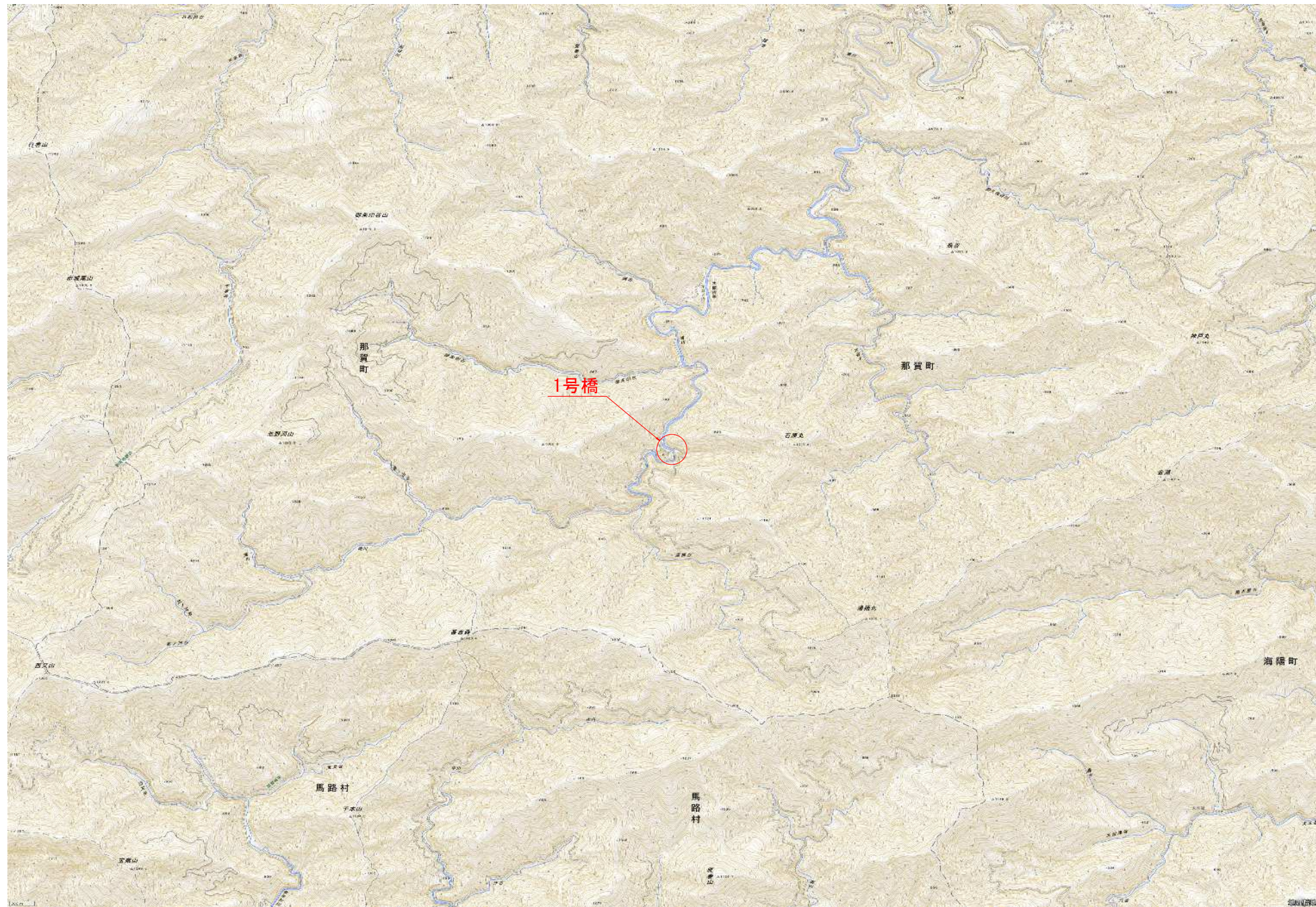


橋梁位置図 S=1:25000  
(1号橋)



【1号橋】

工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業1号橋橋梁塗装工事		
路線名等	湯桶線		
工事箇所	徳島県那賀町木頭折宇湯桶山		
図面名	橋梁位置図		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 8
会社名			
事業者名	那賀町 林業振興課		

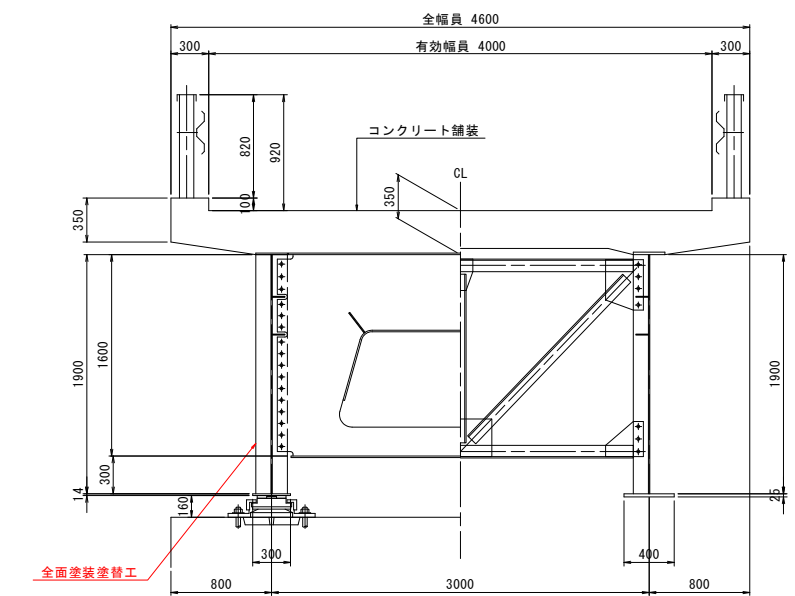
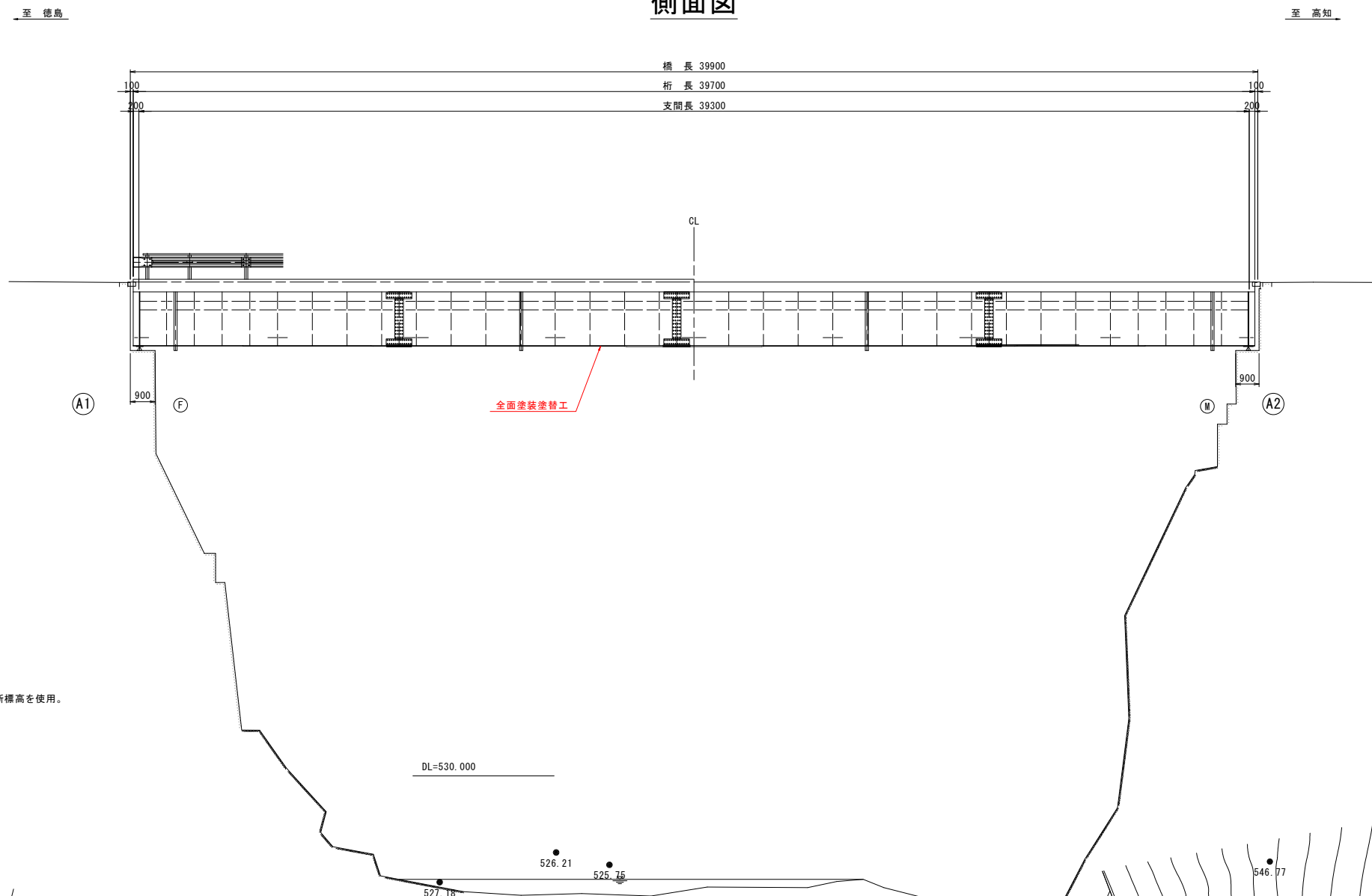
※この地図は国土地理院の数値地図25,000(地図画像)の一部を転載したものである。

# 補修一般図 S=1:100 (1号橋)

## 側面図

## 断面図 S=1:30

端支点上対傾構 中間対傾構



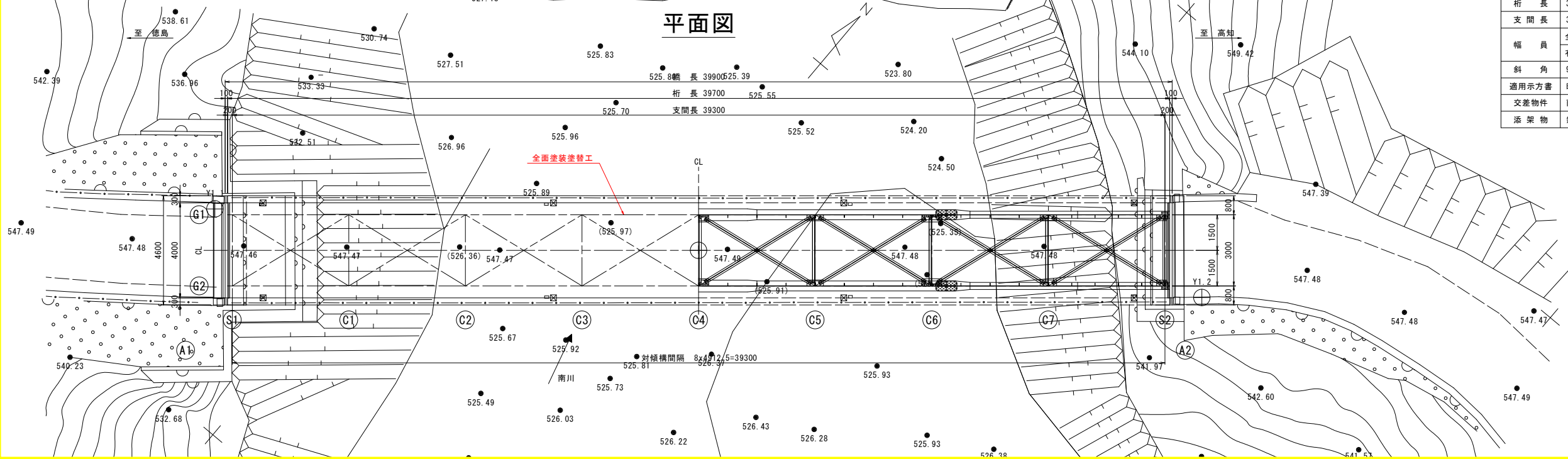
### 補修項目

補修工法	概要
塗装塗替工	Rc-I塗装系

### 【橋梁諸元】

橋梁名	1号橋	
路線名	湯桶線	
所在地	自	徳島県那賀町木頭折字湯桶山
	至	徳島県那賀町木頭折字湯桶山
供用開始年	1973年(供用後52年が経過)	
橋格	2等橋	
形式	上部工	鋼(鉄)リベット橋 I(合成)
	下部工	重力式橋台2基
	基礎工	直接基礎2基
橋長	39.900 m	
桁長	39.700 m	
支間長	39.240 m	
幅員	全幅員	4.60 m
	有効幅員	4.00 m
斜角	90°(道路中心に対して)	
適用示方書	昭和47年 道路標示方書	
交差物件	南川(管理者:徳島県)	
添架物	無し	

## 平面図



※標高については新標高を使用。

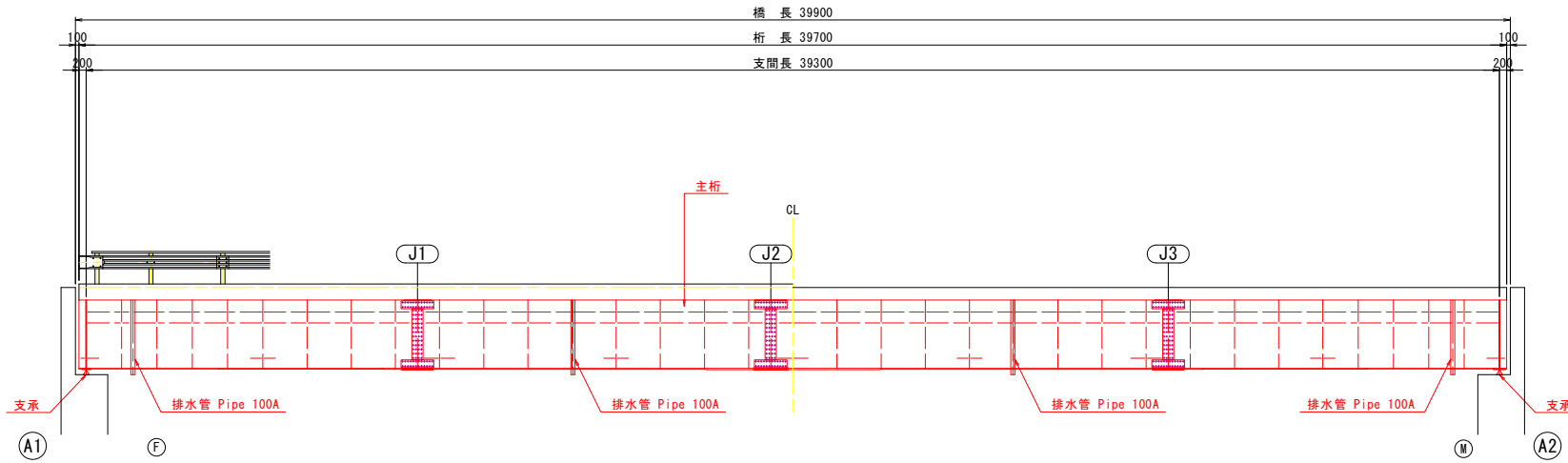
### 【1号橋】

工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業1号橋橋梁塗装工事		
路線名等	湯桶線		
工事箇所	徳島県那賀町木頭折字湯桶山		
図面名	補修一般図		
縮尺	1:100	図面番号	2 / 8
会社名			
事業者名	那賀町 林業振興課		

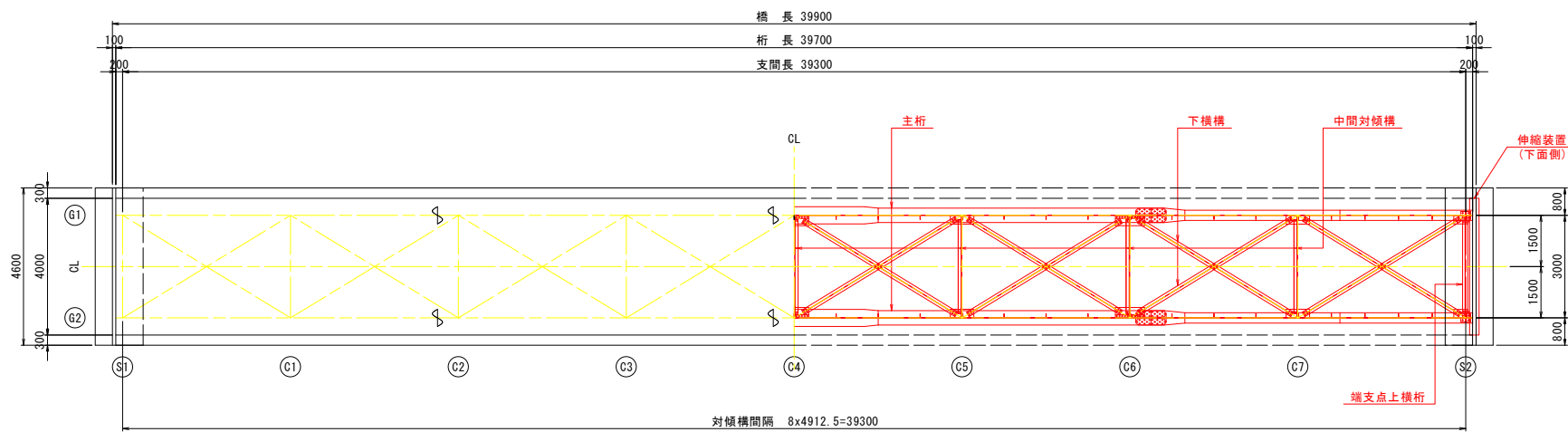
# 塗替え塗装工一般図 S=1:100

(1号橋)

側面図



平面図

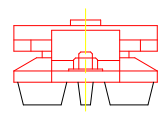
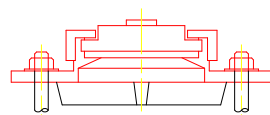


支承概要図 S=1:10

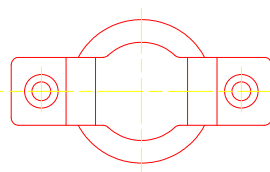
75t用(推定)・【全4組】

橋軸直角方向

橋軸方向



平面図



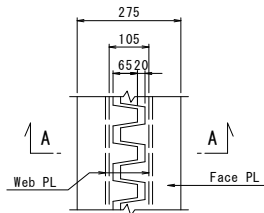
支承塗装面積表(1基当り)

項目	単位	数量
固定支承(A1橋台側)	m <sup>2</sup>	0.57
可動支承(A2橋台側)	m <sup>2</sup>	0.50

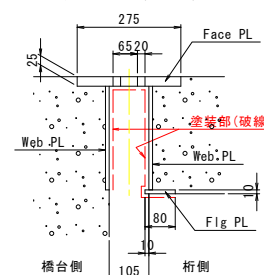
※ 支承の塗装面積は、道路橋支承標準設計からの推定値。ソールプレートを含む

伸縮装置概要図 S=1:10

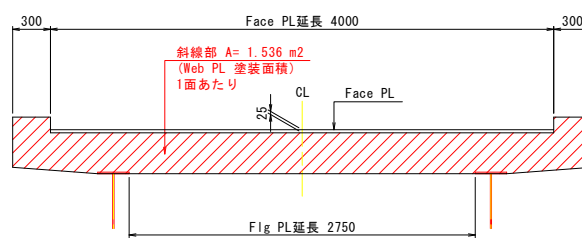
平面図



断面図(A-A)

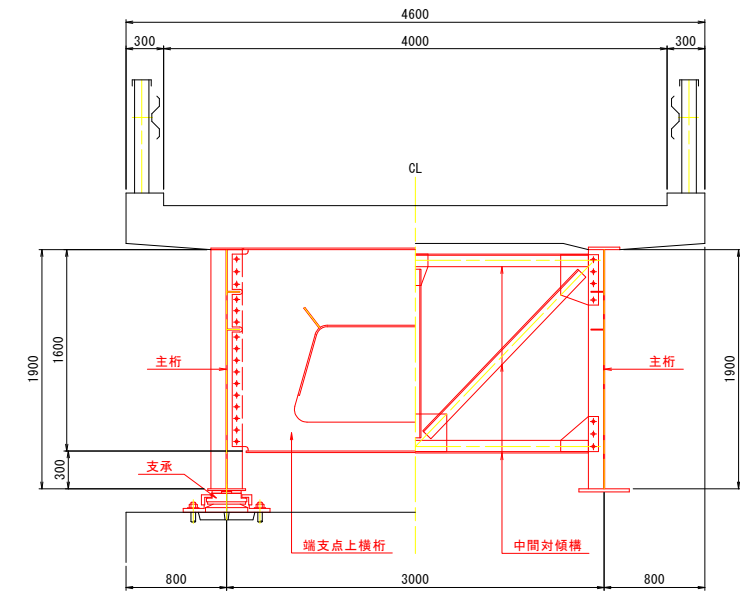


断面図 S=1:30

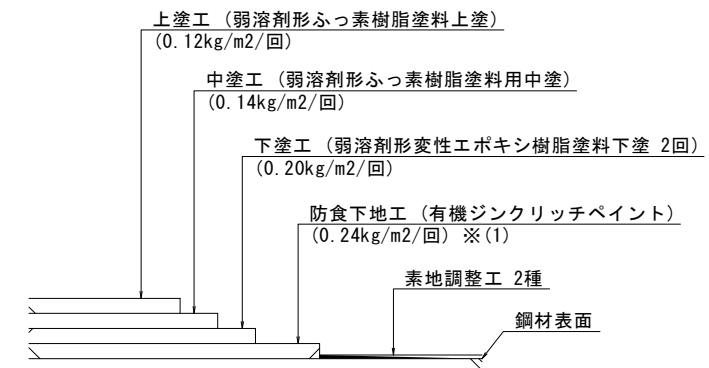


断面図 S=1:30

端支点上横桁 中間対傾構

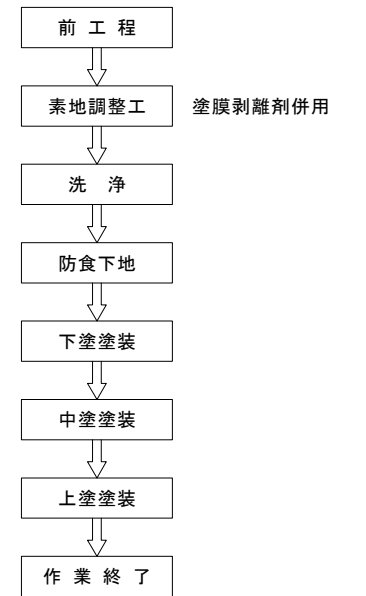


塗替え塗装要領



※(1) 素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量600g/m<sup>2</sup>とする。

塗替え塗装工フロー図



Rc-II塗装系 (はけ, ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(240)	1~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1~10日

※十分な養生と飛散防止を行うこと。

注記)

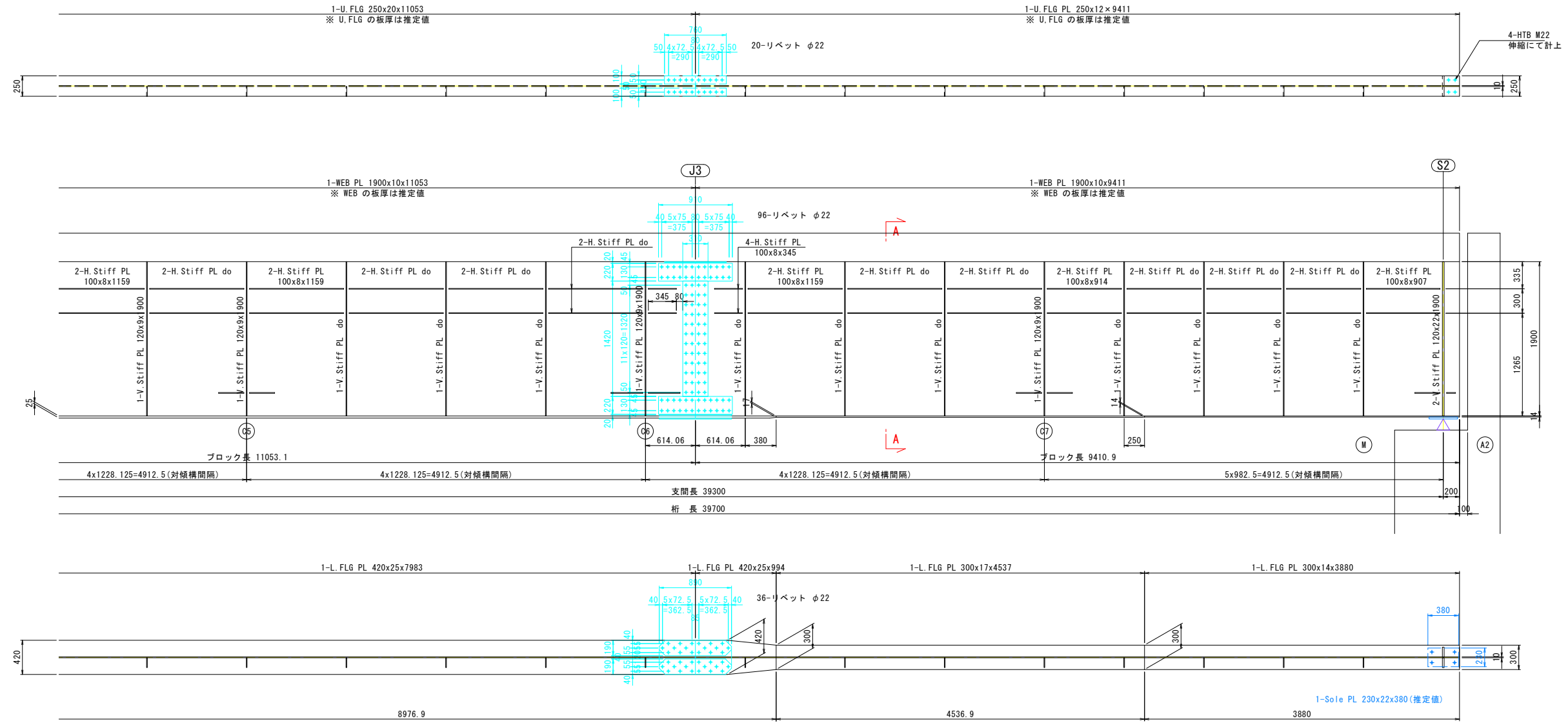
1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し工事に反映すること。
2. 塗装仕様は、Rc-II塗装系を基本とする。
3. 施工前に腐食範囲の進行を確認し、適宜調整を行うこと。
4. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
5. 素地調整作業時に、断面減少及び孔食が生じた場合には金属バテ(エポキシ系)にて断面整形を行ったのち塗装を施すこと。
6. 設計段階では塗膜剥離剤の塗布回数は1回としているが、施工前に剥離試験を行い、適切な塗布量及び塗布回数を確認すること。

【1号橋】

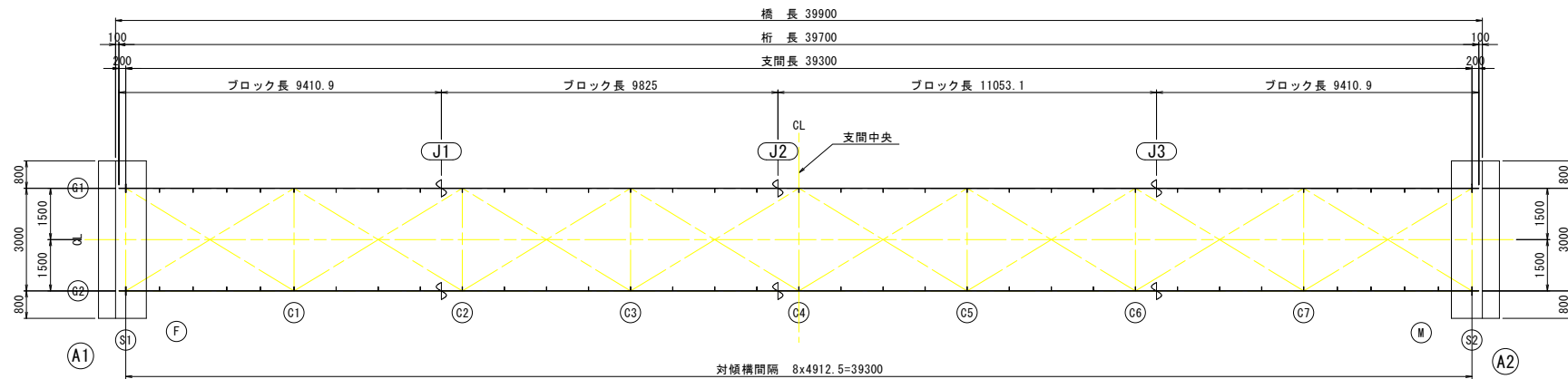
工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業1号橋橋梁塗装工事		
路線名等	湯桶線		
工事箇所	徳島県那賀町木頭折宇字湯桶山		
図面名	塗替え塗装工一般図		
縮尺	1:100	図面番号	3 / 8
会社名			
事業者名	那賀町 林業振興課		



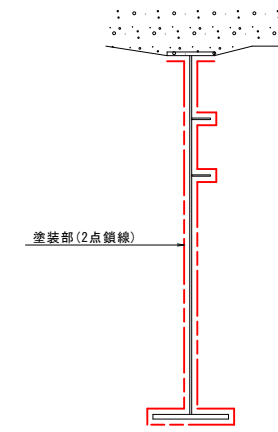
# 塗替え塗装工詳細図(その2) S=1:30 (1号橋)



配置図 S=1:100



断面図(A-A) S=1:20



注記)

1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し工事に反映すること。
2. 塗装仕様は、Rc-II塗装系を基本とする。
3. 施工前に腐食範囲の進行を確認し、適宜調整を行うこと。
4. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
5. 素地調整作業時に、断面減少及び孔食が生じた場合には金属パテ(エポキシ系)にて断面整形を行ったのち塗装を施すこと。

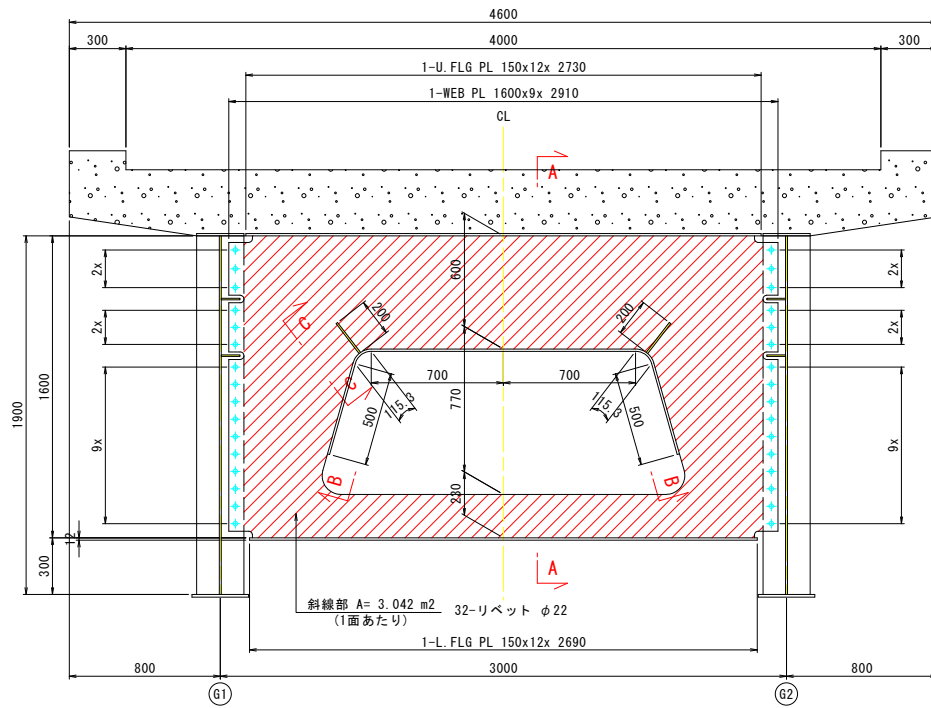
【1号橋】

工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業1号橋橋梁塗装工事		
路線名等	湯桶線		
工事箇所	徳島県那賀町木頭折宇字湯桶山		
図面名	塗替え塗装工詳細図(その2)		
縮尺	1:30	図面番号	5 / 8
会社名			
事業者名	那賀町 林業振興課		

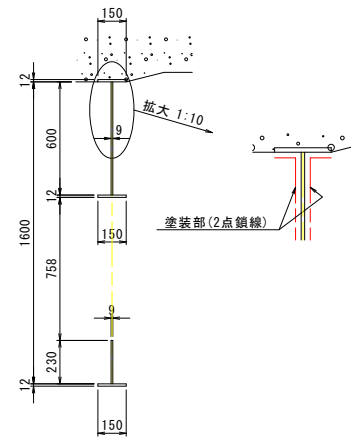
# 塗替え塗装工詳細図(その3) S=1:20

(1号橋)

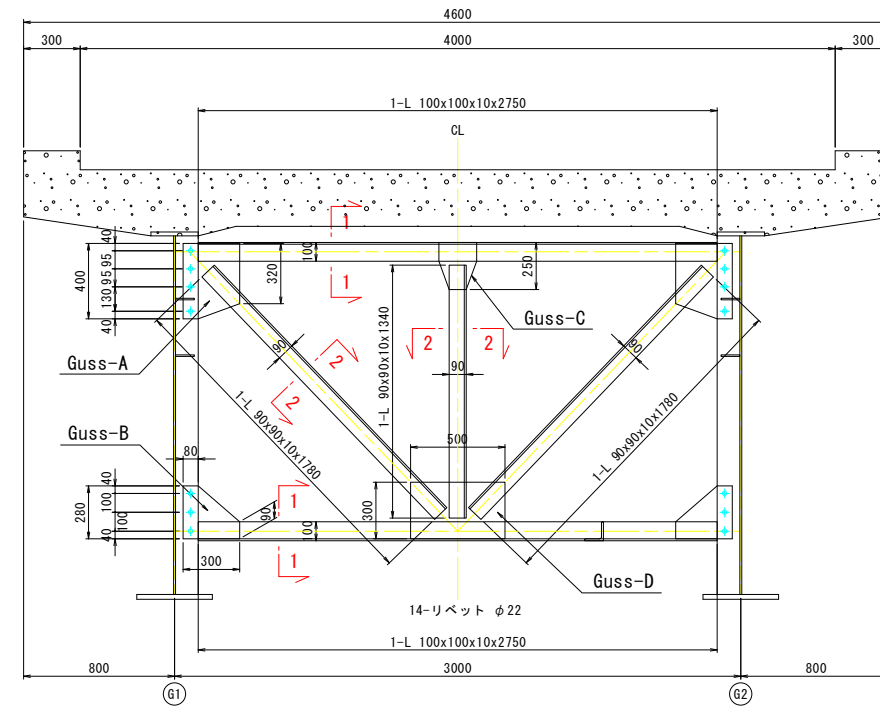
## 端支点上横桁 S1, S2 (全2箇所)



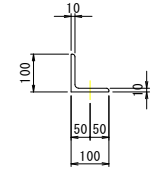
## 断面図(A-A)



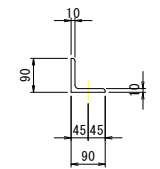
## 中間対傾構 C1~C7 (全7箇所)



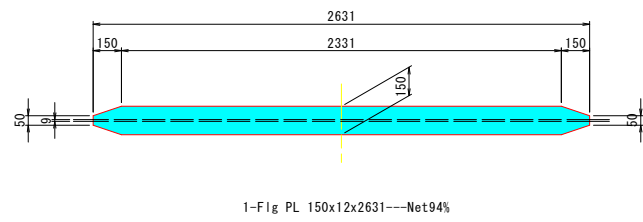
## 断面図(1-1) S=1:10



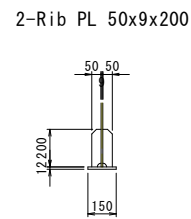
## 断面図(2-2) S=1:10



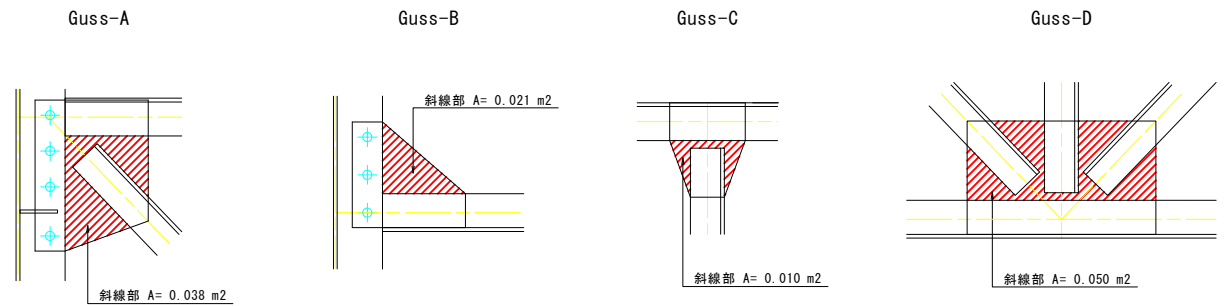
## 展開図(B-B)



## 断面図(C-C)

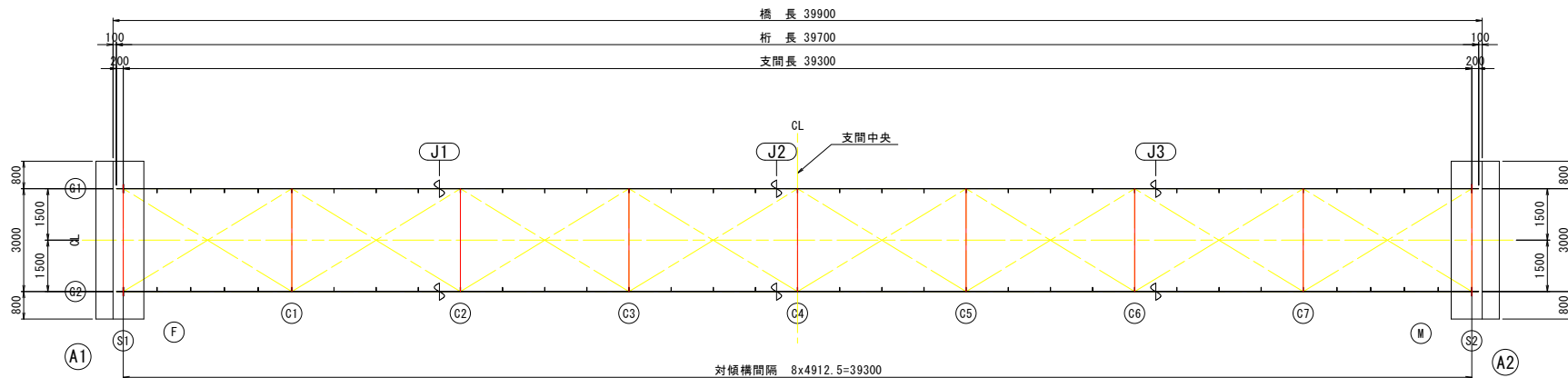


## Guss詳細図 S=1:10 Guss PL 塗装面積



※ 斜線部 A=〇〇 m² は1面あたりの塗装面積を示す。

## 配置図 S=1:100



### 注記)

1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し工事に反映すること。
2. 塗装仕様は、Rc-11塗装系を基本とする。
3. 施工前に腐食範囲の進行を確認し、適宜調整を行うこと。
4. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
5. 素地調整作業時に、断面減少及び孔食が生じた場合には金属パテ(エポキシ系)にて断面整形を行ったのち塗装を施すこと。

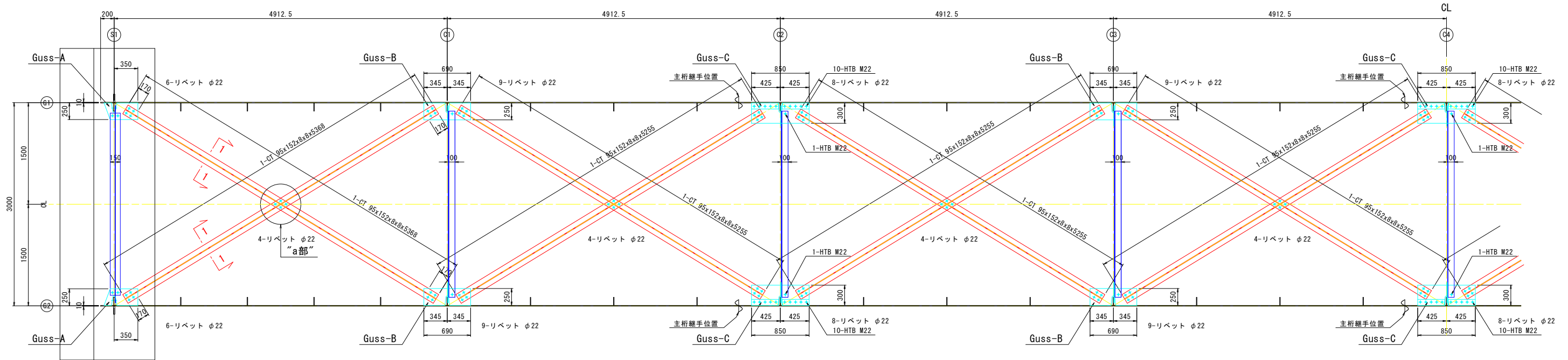
### 【1号橋】

工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業1号橋橋梁塗装工事		
路線名等	湯桶線		
工事箇所	徳島県那賀町木頭折宇字湯桶山		
図面名	塗替え塗装工詳細図(その3)		
縮尺	1:20	図面番号	6 / 8
会社名			
事業者名	那賀町 林業振興課		

# 塗替え塗装工詳細図(その4) S=1:30

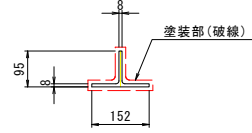
(1号橋)

## 下横構 平面図

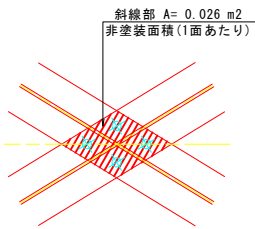


### 断面図(1-1) S=1:10

※ 横構全断面 CT 95x152x8x8



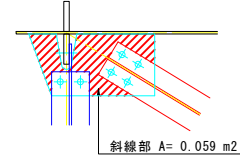
### "a部"詳細図 S=1:10



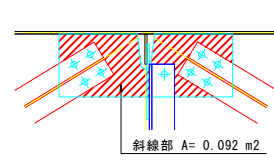
### Guss詳細図 S=1:15

Guss PL 塗装面積

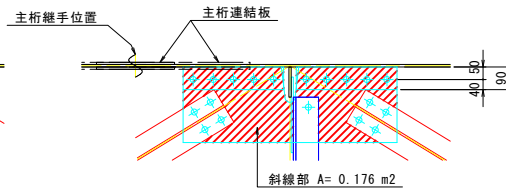
Guss-A



Guss-B

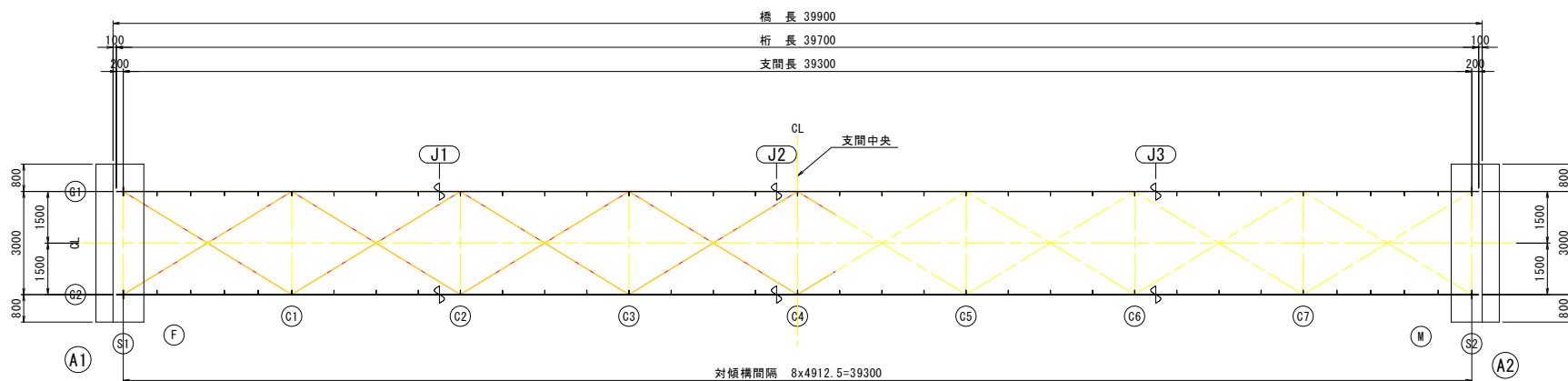


Guss-C



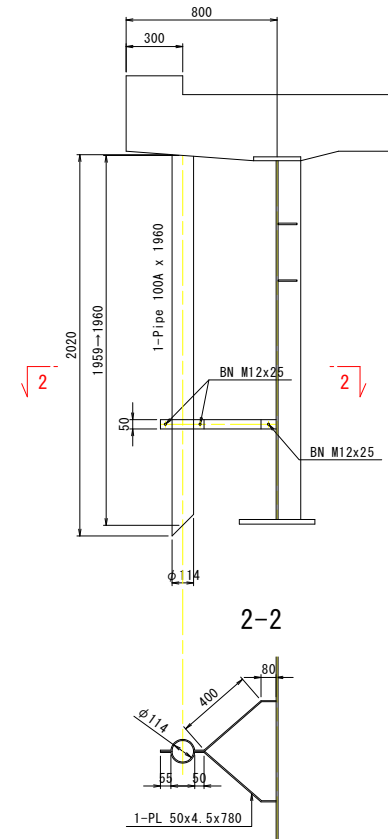
※ 斜線部 A= ○○ m2 は1面あたりの塗装面積を示す。

### 配置図 S=1:100



### 排水詳細 S=1:20

【全8箇所】



※ バンドPL及びボルト寸法は推定値

注記

1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し工事に反映すること。
2. 塗装仕様は、Rc-II塗装系を基本とする。
3. 施工前に腐食範囲の進行を確認し、適宜調整を行うこと。
4. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
5. 表地調整作業時に、断面減少及び孔食が生じた場合には金属パテ(エポキシ系)にて断面整形を行ったのち塗装を施すこと。

【1号橋】

工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業1号橋橋梁塗装工事		
路線名等	湯桶線		
工事箇所	徳島県那賀町木頭折宇湯桶山		
図面名	塗替え塗装工詳細図(その4)		
縮尺	1:30	図面番号	7/8
会社名			
事業者名	那賀町 林業振興課		